第2回福岡市都市計画マスタープラン改定検討懇話会 (令和6年3月28日開催)

都市計画マスタープラン 第2回懇話会資料

福岡市住宅都市局

懇話会のスケジュール (予定)

		令	和5年度	令和	令和7年度	
議会	Š	●改定着手 (6月議会)	● 適宜	報告	骨子案 ●原案 (秋頃)	●改定
懇記	会		●第1回 ●第	●第3回 2回 ●第4	. 🗆	
都市	計画審議会			骨子 (諮f		●改定案 (答申)
	考) 日市基本計画		素案の検討 コジェクト・9次計画総括)	総合計画審	議会●議案提	次期基本計画開始
開催	第	1 🗇	第	20	第3回	第4回
議事	○これまでの ○今後の都 視点・課 に関する	題	【事務局より】 ○第1回の振り返 ○市民意見の概要 ○将来人口推計 ○福岡市基本計画 【意見交換】 ○上位計画などを 今後の都市づく	ē i(素案) ご踏まえ、	○改定の方向性 等に関する 意見交換	○骨子案に関する 意見交換

- 1. 第1回懇話会の振り返り
- 2. 市民意見の概要
- 3. 将来人口推計
- 4. 福岡市基本計画(素案)
- 5. 意見交換

目次 4

- 1. 第1回懇話会の振り返り
- 2. 市民意見の概要
- 3. 将来人口推計
- 4. 福岡市基本計画(素案)
- 5. 意見交換

第1回懇話会での主な意見

参考資料① 参照

都心部等のまちづくり

- ・この10年間で、**天神ビッグバンなどの計画が進み、福岡市が躍動**する姿を見せている。
- ・道路の歩行空間を広げるような、都市アセットのリ・デザインなどの視点も必要。

歴史・文化資源の保全・活用

- ・博多、天神の魅力は歴史の重層性や多様性にあり、**歴史・文化のマネジメント**を考えるべき。
- ・歴史的に価値のある建物が生まれてくるような仕組みづくりが重要。

自然資源の保全・活用

- ・これまでの取組みを継承しつつ、今後は**緑の質の向上**がポイント。
- ・生物多様性の観点から、(在来種への配慮など)外来種への対応ついて検討が必要。

人口増加・減少

- ・将来的な人口減少に備え、マンション建替え促進などにより、**当面の人口増加を鉄道沿線** 等で受け入れる取組みなどが必要。
- ・人口の増加と減少をあわせて考えるなど、**九州や都市圏における福岡市の位置づけを人口動 向などの視点でも整理**することが大事。

少子高齢化

・少子化に対応する観点からも、**若者が暮らしやすいまちづくり**の検討が必要。

1. 第1回懇話会の振り返り

6

第1回懇話会での主な意見

脱炭素社会の実現

- ・市全体のエネルギー消費量は下がっているが、古い建物は残るため、断熱改修などの誘導が必要。
- ・交通は炭素排出の約3分の1を占めており、交通の更なる効率化が必要。

安全・安心な暮らし

- ・大雨による**内水氾濫等**に対し、**郊外部の浸水対策**や都市内の**農地や遊水池の確保**などが求められる。
- ・地震についてはこれまでの取組みを継承して、引き続き、しっかりと取り組んでいく必要がある。
- ・災害におけるレジリエンスの観点では、コミュニティのつながりが重要。

地域まちづくり

- 市民目線のウェルビーイングや産官学民による共働という視点でもまちづくりを考える必要がある。
- ・街がどう変わるのかというイメージを模型やCGなどで市民に分かりやすく見せられると良い。
- ·データに基づいたまちづくりなど、DXをまちづくりに活用していくことが重要。

その他

- ・九大伊都キャンパスやアイランドシティといった活力創造拠点のように、**イノベーションなどを推進する地区をどう位置付けるか**を考えておくべき。
- ・福岡市は第二次産業が発展しておらず、理系の雇用を生むような土地利用は考えておくべき。
- ・観光資源の創出に民間活力を活用できるような仕組みづくりも考えておくべき。
- ・定住外国人の増加も重要な視点。

1. 第1回懇話会の振り返り

2. 市民意見の概要

- 3. 将来人口推計
- 4. 福岡市基本計画(素案)
- 5. 意見交換

2. 市民意見の概要

「みんなでつくる福岡市の将来計画プロジェクト」の概要

参考資料② 参照

8

実施期間

令和5年4月25日~10月31日 (ワークショップ等については11月末まで)

実施内容

- <u>(1) オンラインアンケート</u>
- (4) ワークショップ (5) ゲームを活用した取組み
- (7) 有識者インタビュー

- (2)メールや郵送等による意見の受付(3)外国からの来訪者へのアンケート
- (6) 小中学校での意見募集
- (8) 民間主導の取組み

オンラインアンケートの結果概要(回答件数8,242件)

◆「あなたにとっての幸せな未来のために特に大切なこと」 ◆選択した項目の現在の満足度 (満足+やや満足の割合) の選択割合 住む場所 73.1% 住みたい場所に住めること 62.4% 日常生活や市外への移動に 60.0% 交通の利便性 65.5% 交通機関が便利なこと 身近に海や山などの自然が 50.4% 身近な自然 88.6% あること 0.0% 50.0% 100.0% 0.0% 50.0%

◆福岡市や自分自身の未来についての自由記述意見(延べ3,315件)

ユニバーサルデザイン、健康、福祉	504 件
子ども、教育	652 件
文化芸術、スポーツ	160 件
地域コミュニティ	86 件
防災、都市基盤	161 件
防犯、モラル・マナー	155 件

環境、自然	158 件
交通	445 件
経済振興、都心部	299 件
国際	59 件
その他	636 件

基本理念1 交流を育み、都市の成長を図る都市づくり

九州・アジアの交流拠点都市の形成

基本方向2

◆総論

◆各論

交通(445件)

(70代以上・東区)

(50代・中央区)

都市の活力を牽引する都心部の機能強化

・市内隅々、交通の不便さの不平等を少しでもなくしていく福岡市

・鉄道のネットワークを、もっと充実させてほしい(50代・西区)

・自宅から最寄りの駅までのアクセスが近い(50代・博多区)

・高齢者が「運転しなくてもよい」と思えるような環境づくり

・交通機関のタッチ決済を普及させてほしい(20代以下・南区)

・ 市内中心部への交通流量の減少に向けた対策(40代・南区)

・バスの本数を増やしてほしい(60代・早良区)

・公共交通の混雑緩和が必要(20代以下・博多区)

・南区にも地下鉄を通してほしい(50代・南区)

経済振興、都心部(299件)

◆企業誘致、雇用創出、働き方

- ・日本で最も新しいビジネスが集まる場所(40代・城南区)
- ・有力な企業が誘致され、故郷を捨てずに活躍できる環境(30代・早良区)
- ・理系で勉強した子どもたちが働く場所の充実(50代・城南区)

◆観光、レジャー施設、商業施設

- ・福岡を象徴するランドマークがほしい(20代以下・中央区)
- ・商店街は残してほしい(40代・中央区)

◆都心部

・誰もが利用できる都会のオアシスみたいな緑多い場所 (70代以上・中央区)

など

国際(59件)

◆国際化、共生

・世界の人々が来てよかった、住んでみたいと思えるまち(40代・中央区)

など

・地下鉄の姪浜駅と橋本駅を繋げてほしい(50代・西区)

- ・ドームや国際会議場へのアクセス(50代・城南区)
- ・アイランドシティへの交通の便をもっと便利に(30代・東区)
- ・空港の国際線に地下鉄で行けるようにしてほしい(40代・中央区)

など

文化芸術・スポーツ(160件)

◆文化芸術

- ・音楽やアートなどの芸術が街中で楽しめる(40代・南区)
- ・コンサートホール、ライブハウス、大中小の会場(40代・中央区)

<u>◆スポー</u>ツ

・自由に気軽こスポーツを楽しめる施設をたくさん作ってほしい(40代・西区)

など

2. 市民意見の概要

10

基本理念2 地域の特性を生かし、生活の質を高める都市づくり

基本方向3

都市基盤を活用した地域の核となる 拠点機能の強化

地域コミュニティ(86件)

◆コミュニティ

- ・高齢者や子育て世帯が孤立せず、安心して暮らせる地域コミュニティ (50代・西区)
- ・公民館を中高生の自習や高齢者の買い物など便利に使えるように (40代・博多区)

基本方向4

高齢者をはじめ、すべての人が快適で 住みやすい日常生活圏の形成

子ども、教育(652件)

◆子ども支援

- ・子どもたちがのびのび遊べるところがほしい(60代・東区)
- ・子どもが大人になった時も住み続けて結婚子育てをしたいと 思えるまち(20代以下・早良区)

など

ユニバーサルデザイン、健康、福祉(504件)

◆多様性、バリアフリー

- ・多様な人が自分らしく生きられるためのまちづくり (20代以下・南区)
- ・歩道の段差をなくし、自転車やベビーカー、車椅子でも安心に (50代・中央区)
- ・歩くのが楽しいまち(50代・中央区)

◆高齢者、障がい者

- ・老後でも安心して暮らせる福岡市(40代・西区)
- ・高齢者になった時に生活できる場所の選択肢がたくさん 持てること(40代・西区)

など

など

「基本理念3 自然環境と共生し、安全・安心な暮らしができる都市づくり

基本方向5

環境負荷の少ない都市空間の形成

基本方向6 災害

災害に強く安全な都市空間の形成

環境、自然(158件)

◆環境、自然、緑・公園

- ・再生可能エネルギーや EV の推進(20代以下・城南区)
- ・自然を生かしたまちづくり(30代・西区)
- ・ほどよく都会でほどよく田舎っぽさが残るまち(70代以上・東区)
- ・花や緑に溢れたまち(50代・南区)
- ・幅広い年齢層の憩いの場となる公園(20代以下・中央区)

防災、都市基盤(161件) ◆防災、道路整備、住宅

- ・災害、有事に備えるまちづくり(50代・中央区)
- ・子供でも老人でも安心して安全に歩ける道路整備(50代・東区)
- ・自転車で移動しやすい道路整備(30代・博多区)
- ・電信柱のないまちづくり(40代・南区)
- ・独り身の高齢者が安心して住める住居(50代・東区)
- ・住みたいところに安価で安心して住める(40代・南区)

など

など

その他

その他(636件)

◆その他

- ・古き良きものを残しつつ進化してほしい(40代・博多区)
- ・自然や食べ物、お祭りなど地域の特性を活かした福岡らしい まちづくり(60代・城南区)
- ・九州全体発展のキーマン(40代・中央区)
- ・福岡都市圏としての成長戦略が必要(60代・早良区)
- ・デジタル技術の活用で、さまざま便利で生産性の高い社会 (50代・城南区)
- ・美しい建物を建て並べ、緑豊かな街並みを誇るまちづくり (60代・早良区)
- ・都市部ばかりではなくて郊外の方にも目を向けてほしい (30代・東区)
- ・2050 年以後も持続可能なまちづくり(50代・東区)
- ・大好きな福岡市。老若男女住み良いまちであり続けていてほしい (50代・城南区)

など

目次

12

1. 第1回懇話会の振り返り

2. 市民意見の概要

3. 将来人口推計

4. 福岡市基本計画(素案)

5. 意見交換

3. 将来人口推計

福岡市の将来人口推計

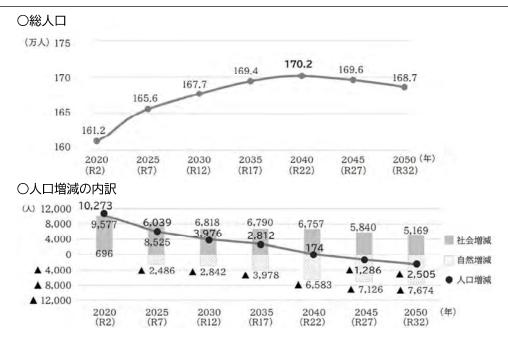
参考資料③ 参照

推計期間

2020 (令和2) 年を基準時点とし、2050 (令和32) 年まで

推計結果

● 福岡市における総人口のピークは、2040(令和22)年頃で約170万人に達する。



3. 将来人口推計

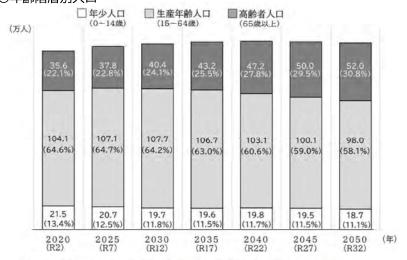
14

福岡市の将来人口推計

推計結果

- 年少人口(0~14歳)は、減少傾向にあるが、全国では、2050(令和32)年頃までに約31%の減少が予想される中、福岡市では約17%の減少にとどまる。
- 生産年齢人口(15~64歳)は、増加傾向にあるが、2030(令和12)年頃をピークに減少に転じる。
- 高齢者人口(65歳以上)は、引き続き増加し、2050(令和32)年頃には約31%に達するが、その後、 減少に転じる。

○年齢階層別人口



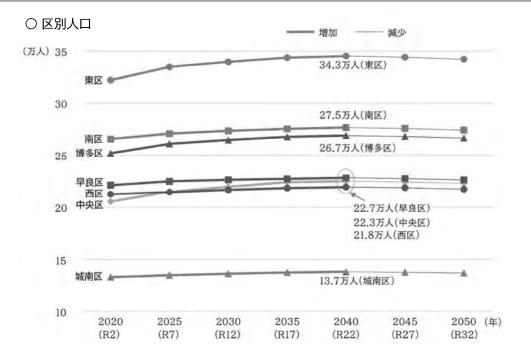
(注) 2020(R2)については、不詳補完値による集計(年齢不詳を人口構成をもとに按分)

3. 将来人口推計

福岡市の将来人口推計

推計結果

● 区別人口は、総人口のピークである2040(令和22)年以降は減少に転じる。

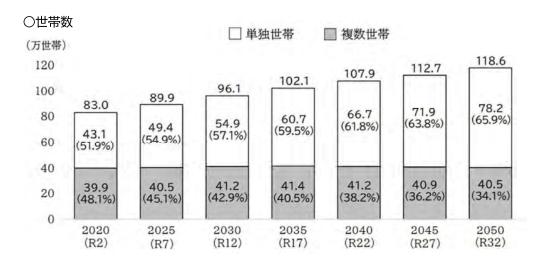


3. 将来人口推計

福岡市の将来人口推計

推計結果

● 世帯数は、単独世帯の増加が顕著となり、2040(令和22)年頃には6割を超える



- 1. 第1回懇話会の振り返り
- 2. 市民意見の概要
- 3. 将来人口推計
- 4. 福岡市基本計画(素案)
- 5. 意見交換

4. 福岡市基本計画(素案)

都市計画マスタープランの役割・位置づけ(第1回懇話会資料抜粋)

- ●福岡市基本計画は、基本構想に掲げる都市像の実現に向けた方向性を、まちづくりの目標や施策として 総合的・体系的に示した10年間の長期計画
- ●都市計画マスタープランは都市計画法第18条の2に基づく市町村の都市計画に関する基本的な方針で、 「福岡市総合計画」や県が定める「福岡都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(都市計画 区域マスタープラン)」に即して定める
- ●都市計画マスタープランに係る 法改正の経緯
 - ・<u>平成4年</u>の都市計画法改正に伴い、<u>市町</u> 村毎に都市計画マスタープランを定める <u>こと</u>とされた。
 - ・<u>平成12年の地方分権一括法の施行</u>を皮切りに、都市計画の決定権限が市町村へ段階的に移譲され、<u>都市計画マスタープランに基づく制度運用が重要</u>となっている。



4. 福岡市基本計画(素案)

計画期間・都市経営の基本戦略

参考資料④ 参照

計画期間(目標年次)

2025年度(令和7年度)から2034年度(令和16年度)までの10年間

都市経営の基本戦略

(1) 生活の質の向上と都市の成長の持続的な好循環を創り出す

福岡市の「住みやすさ」に磨きをかけて市民生活の質を高め、質の高い生活が人と経済活動を呼び込むことで都市が成長し、その成長の果実によるさらに生活の質を高めていくという好循環を持続可能なものとしていく。

(2) 多様な人材が育ち、集い、チャレンジできる環境をつくる

様々な人達が出会い、交流してきた地理的・歴史的な背景や、大学などの高度な教育・研究機能の集積など、 福岡市の個性の強みを活かすことにより、多様な人材が育ち、国内外から集い、互いに交流しながら、誰もが 様々な分野で将来に向かってチャレンジできる環境をつくる。

(3) 福岡都市圏全体として発展し、広域的な役割を担う

生活圏・経済圏が一体化した福岡都市圏では、これまで交通、水、医療・福祉、環境、消防などの都市圏に 共通する課題に一緒に取り組んできた。今後も連携を一層深めるとともに、九州・日本・アジアとの関係にお いても、広域的な役割を担っていく。

4. 福岡市基本計画(素案)

20

分野別目標

基本構想都市像	基本計画 分野別目標		施策
	目標 1	一人ひとりが 心豊かに暮らし、 自分らしく輝いている	1-1 多様な市民が輝くユニバーサル都市・福岡の推進 1-2 一人ひとりが健やかで心豊かに暮らせる社会づくり 1-3 すべての人が安心して暮らせる福祉の充実
●自律した市民が 支え合い心豊かに 生きる都市	目標 2	すべての子ども・若者が 夢を描きながら健やかに 成長している	2-1 子どもを望む人が安心して生み育てられる環境づくり 2-2 すべての子どもや若者が安心して暮らし、成長できる社会づくり 2-3 自ら学び続け、他社を尊重し、協働できる子どもの育成 2-4 将来に夢や希望を抱き、意欲と志を持ってチャレンジする人材の育成
●自然と共生する 持続可能で生活の 質の高い都市	目標 3	地域の人々がつながり、 支え合い、安全·安心に 暮らしている	3-1 つながりと支え合いの基盤となる地域コミュニティの活性化 3-2 生活利便性が確保された地域のまちづくり 3-3 安全で快適な生活基盤の整備と災害に強いまちづくり 3-4 日常生活における安全・安心の確保と地域福祉の推進
	目標 4	人と自然が共生し、 身近に潤いと安らぎが 感じられる	4-1 持続可能で未来につながる脱炭素社会の実現 4-2 循環経済の確立に向けた資源循環等の推進 4-3 都市と自然が調和したコンパクトで個性豊かなまちづくり 4-4 花や緑などによる潤いや安らぎを感じるまちづくり

22

4. 福岡市基本計画(素案)

分野別目標

基本構想都市像	基本計画 分野別目標		施策	
	目標	磨かれた魅力に 人々が集い、 活力に満ちている	5-1 観光資源の磨き上げと戦略的なプロモーションの推進 5-2 交流がビジネスを生むMICE受入環境の形成 5-3 人々を魅了するエンターテインメント都市づくり	
●海に育まれた歴史と 文化の魅力が人を ひきつける都市	目標	都市機能が充実し、 多くの人や企業から 選ばれている	6-1 都市活力を牽引する都心部の機能強化と魅力向上 6-2 様々な都市機能が集積した魅力・活力創造拠点づくり 6-3 公共交通を主軸とした総合交通体系の構築 6-4 成長分野の企業や本社機能の立地の促進	
●活力と存在感に 満ちたアジアの 拠点都市	目標7	チャレンジ精神と 新たな価値の創造により、 地域経済が活性化している	7-1 地場中小企業の競争力強化などによる地域経済の活性化 7-2 農林水産業とその関連ビジネスの振興 7-3 新たな価値の創造とスタートアップ都市づくり 7-4 産学官民が連携した知識創造型産業などの振興	
	目標 8	アジアのモデル都市として 世界とつながり、国際的な 存在感がある	8-1 成長を牽引する物流・人流のゲートウェイづくり 8-2 国際がなビジネス交流の促進とグローバル人材にも住みやすいまちづくり 8-3 国際貢献・国際協力の推進と国際会議の誘致	

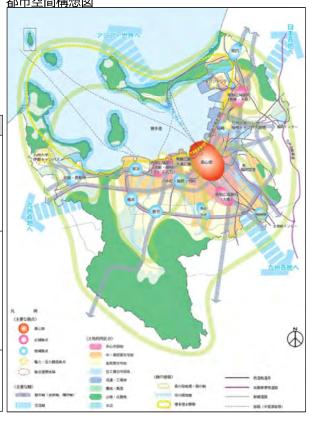
4. 福岡市基本計画(素案)

空間構成目標

- ・都心部を中心にコンパクトな市街地が形成され、都市的魅力と豊かな 自然環境が調和し、安全・安心な暮らしのもと、市民が日常的にそれを 享受している。
- ・エリアの個性や強みが活かされるとともに、交通基盤のネットワークに より移動の円滑性が確保された「コンパクトでコントラストのある都市」 が実現している。

拠点等	めざす姿
都心部	○都市活力の中心及び国際交流のゲートウェイとして、 国際競争力を備えた商業・業務、MICE、文化、 港湾など高度な都市機能、広域交通機能が集積○水辺や通り、広場には、花や緑、文化芸術などがあり、 多様な人と企業が集積・交流
地域の拠点	○東部・南部・西部の「広域拠点」は、交通結節機能の 高さを生かし、都市活力を担いつつ、広範な生活圏域 の中心として、商業・業務機能や市民サービス機能 など諸機能が集積 ○「地域拠点」は、区やそれに準ずる生活圏域の中心 として、日常生活に必要な商業機能や市民サービス
日常生活圏	機能など諸機 能が集積 ○小学校区単位を基本とし、公民館を拠点として、自治協議会を中心に地域コミュニティが形成され、市民の良好な居住環境と日常生活に必要な基本的な生活利便性が確保

都市空間構想図



4. 福岡市基本計画(素案)

空間構成目標

- ・都心部を中心にコンパクトな市街地が形成され、都市的魅力と豊かな 自然環境が調和し、安全・安心な暮らしのもと、市民が日常的にそれを 享受している。
- ・エリアの個性や強みが活かされるとともに、交通基盤のネットワークに より移動の円滑性が確保された「コンパクトでコントラストのある都市」 が実現している。

拠点等	めざす姿
	○ <u>アイランドシティ</u> は、豊かな自然に恵まれ、環境に 配慮した先進的モデル都市及びコンテナターミナルと 一体となった国際物流拠点を形成
	○ <u>九州大学箱崎キャンパス跡地</u> は、多様な都市機能や ゆとりある空間、先端技術の導入などにより、快適で 質の高いライフスタイルを創出
魅力・活力 創造拠点	○ <u>舞鶴公園・大濠公園地区</u> は、都心部に近接した貴重な 緑地空間として、市民の憩いの場となり、歴史資源を 生かし、文化芸術と融合した観光・交流拠点を形成
	○ <u>シーサイドももち</u> は、情報関連産業の集積拠点となり、 文化・エンターテインメントなどの既存資源を活かし た観光・MICEの拠点を形成
	○ <u>九州大学伊都キャンパス及びその周辺</u> は、九州大学学術研究都市の核として、新たな知を創造、発信する研究開発拠点となり、新たなビジネスやイノベーションの創出拠点を形成
交通 ネットワーク	○陸海空の広域交通ネットワークを備える都心部を中心 に、それぞれの拠点間は公共交通機関でネットワーク され、拠点内やその周辺では身近な生活交通が確保



目次 24

- 1. 第1回懇話会の振り返り
- 2. 市民意見の概要
- 3. 将来人口推計
- 4. 福岡市基本計画(素案)
- 5. 意見交換

○構成

全体構想

- 基本理念と基本方向
- 取組みの基本的な方針
- 将来の都市構造
- 部門別の基本的な方針
- ・土地利用 ・交通体系 ・みどり ・景観
- ・住宅市街地 ・環境都市 ・防災 ・その他

区別構想

○東区 ○博多区 ○中央区 ○南区 ○城南区 ○早良区 ○西区

地域別構想"都心部編"

- 対象エリア
- まちづくりの方向性 など

○基本理念と基本方向

豊かな自然環境と充実した都市機能を備えた コンパクトで持続可能な都市をめざして

基本理念 交流を育み、都市の成長を図る都市づくり

交流 ä** 5向1 九州・アジアの交流拠点都市の形成

活力 基本方向2 都市の活力を牽引する都心部の機能強化

基本理念2 地域の特性を生かし、生活の質を高める都市づくり

活用 基本方向3 都市基盤を活用した地域の核となる拠点機能の強化

快適 高齢者をはじめ、すべての人が快適で住みやすい 日常生活圏の形成

基本理念 自然環境と共生し、安全・安心な暮らしができる都市づくり

環境 基本方向5 環境負荷の少ない都市空間の形成

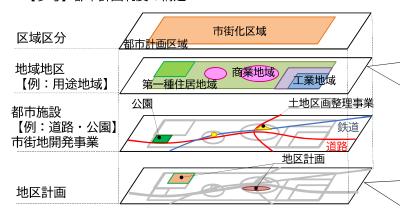
安全 基本方向6 災害に強く安全な都市空間の形成

都市計画マスタープランの役割

○都市計画マスタープランの役割

- ●都市計画に係わる施策を総合的かつ体系的に展開していくための指針 都市づくりの基本的な考え方、土地利用、道路・公園などの都市基盤施設などの 方針を明らかにし、具体的な都市計画を定める際の総合的な指針とする。
- ●地域主体による地域の特性や課題に応じたまちづくりに向けての基礎 地域と行政の共働によるまちづくりの推進に向けて、地域の特性に応じたルール づくり(地区計画など)に活用する。

【参考】都市計画制度の構造



【用途地域】

全市的な観点から、良好な市街地 環境の形成や住居、商業、工業など の適正な配置のため、建築物の用途 や容積率などを定める。

【地区計画】

より良好な市街地環境の形成・ 保全のため、地区の特性に応じて、 道路・広場の配置や建築物の用 途・形態などについて、きめ細か く定める。

28

○構成

全体構想

- 基本理念と基本方向
- 取組みの基本的な方針
- 将来の都市構造
- 部門別の基本的な方針
- ・土地利用 ・交通体系 ・みどり ・景観
- ・住宅市街地 ・環境都市 ・防災 ・その他

区別構想

○東区 ○博多区 ○中央区 ○南区 ○城南区 ○早良区 ○西区

地域別構想"都心部編"

- 対象エリア
- まちづくりの方向性 など

○基本理念と基本方向

豊かな自然環境と充実した都市機能を備えた コンパクトで持続可能な都市をめざして

基本理念 交流を育み、都市の成長を図る都市づくり

交流 基本方向1 九州・アジアの交流拠点都市の形成

活力 基本方向2 都市の活力を牽引する都心部の機能強化

基本理念2 地域の特性を生かし、生活の質を高める都市づくり

活用 基本方向3 都市基盤を活用した地域の核となる拠点機能の強化

快適 高齢者をはじめ、すべての人が快適で住みやすい 日常生活圏の形成

基本理念3 自然環境と共生し、安全・安心な暮らしができる都市づくり

環境 基本方向5 環境負荷の少ない都市空間の形成

安全 基本方向6 災害に強く安全な都市空間の形成

意見交換

基本理念1 交流を育み、都市の成長を図る都市づくり

意見交換

基本方向1 九州・アジアの交流拠点都市の形成

活力 基本方向2 都市の活力を牽引する都心部の機能強化

基本理念2 地域の特性を生かし、生活の質を高める都市づくり

意見交換

活用 基本方向3 都市基盤を活用した地域の核となる拠点機能の強化

快適 高齢者をはじめ、すべての人が快適で住みやすい 日常生活圏の形成

基本理念3 自然環境と共生し、安全・安心な暮らしができる都市づくり

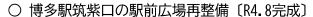
意見交換 **3** 環境 基本方向5 環境負荷の少ない都市空間の形成

安全 基本方向6 災害に強く安全な都市空間の形成

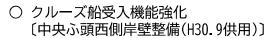
30

広域交流のゲートウェイ (第1回懇話会資料抜粋)

- ●福岡空港では滑走路の増設やターミナルの拡張、博多駅では乗継利便性の向上や交通結節機能の強化を行うなど、アジアのゲートウェイとして、広域交通の機能強化を進めている
 - 福岡空港の機能強化
 - ・国内線ターミナルビルの再整備 [R2.8開業] 平行誘導路の二重化に合わせ、国内線ターミナルビル(バスラウンジ・展望デッキなど)の再整備を実施
 - ・滑走路増設〔~R6年度〕 将来の航空需要に適切に対応するため、国際線スポットの増設 とあわせて、滑走路の増設工事を進めている



・乗継利便性の向上や交通結節機能の強化、 回遊性の向上等のため、シェルターやタクシー専用の 乗降場の整備、歩道の拡幅などの再整備を実施



・大型クルーズ船の2隻同時着岸や世界最大級のクルーズ船を受け入れるため中央ふ頭の岸壁延伸工事を実施



(福岡空港の機能強化)



(博多駅筑紫口の再整備)



(クルーズ船受入機能強化)

基本理念(1) 交流を育み、都市の成長を図る都市づくり

広域交流のゲートウェイ

●陸・海・空の広域交通が充実し、鉄道利用者等は回復傾向にある

○福岡空港路線図



○福岡空港の乗降客数



○国内輸送ネットワーク、国際コンテナ定期航路





各空港の利用・就航状況

●九州管内のうち福岡空港の着陸回数が約4割、乗降客数が約5割を占める

○九州管内空港の着陸階数及び乗降客数(令和4年)

	着陸回数(回)			乗降客数(人)			
	国際線	国内線	計	国際線	国内線	計	
福岡空港	7,731	71,756	79,487	2,259,514	15,708,402	17,967,916	
北九州空港	253	8,013	8,266	2,131	849,256	851,387	
長崎空港	3	15,788	15,791	126	2,572,945	2,573,071	
熊本空港	69	21,278	21,347	18,894	2,623,904	2,642,798	
大分空港	6	13,882	13,888	10	1,469,799	1,469,809	
宮崎空港	22	21,438	21,460	6,485	2,568,026	2,574,511	
鹿児島空港	57	32,671	32,728	11,302	4,667,519	4,678,821	
佐賀空港	0	3,841	3,841	0	345,955	345,955	



出典:空港管理状況調書

○九州管内空港の国際線就航状況(2023年夏ダイヤ時点)(国土交通省)

福岡空港12都市 294 便/週(シンガポール、バンコク、ソウル、釜山、香港、グアムなど) 熊本空港 1 都市 7 便/週(ソウル)

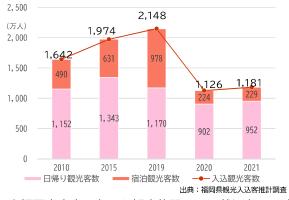
基本理念① 交流を育み、都市の成長を図る都市づくり

32

広域交流のゲートウェイ

- ●コロナの影響を除き、観光客数は増加傾向にあり、特に宿泊観光客が増加している
- ●ホテルの客室数は2021/2010比で1.57倍に増加している

○入込観光客数の推移



○ホテル・旅客の客室数及び客室稼働率の推移



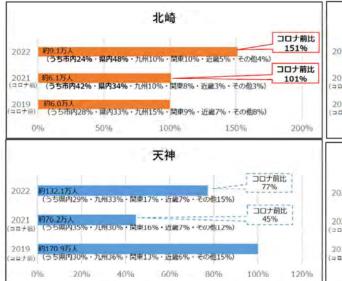
○福岡市市内の主要な観光施設の入込状況(2021)

施設名	人数(人)	施設名	人数(人)
JR博多シティ	47, 610, 000	ベイサイドプレイス博多	1, 000, 000
キャナルシティ博多	9, 940, 000	国営海の中道海浜公園	622, 041
マリノアシティ福岡	3, 830, 000	マリンワールド海の中道	593, 939
博多リバレイン	2, 536, 000	福岡市動植物園	573, 688
(株)マリゾン	1, 952, 250	福岡PayPayドーム	473, 243

出典:福岡市観光統計

広域交流のゲートウェイ

- ●コロナ以前と比較し、郊外エリアの北崎、志賀島への来訪者が増加している
- ●移動制限の緩和により、2020年3月以降は天神・博多駅の来訪者も回復傾向を示している







※データ提供: KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」(auスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計した推計値) 当抽出条件: (対象期間)平日土日祝含む全期間 (対象者) 7~24時の時間帯に60分以上滞在した方の総数 (2019年1月~4月までのデータは抽出できないため、各年5月以降のデータを可視化) ※抽出軸回: 北崎(夫婦岩~ジハングンまでの海沿い周辺)・表質島(表質鬼逸俗場・志数時神社周辺)・天神(西鉄福岡駅周辺)・博多(博多駅周辺) ※実形者の定義(北崎・志型島): 各地点から半径約10km以上の地域からの変形者(生活圏が地域:市内(生活圏を除く)・現内(市内を除く)・九州、沖縄(福岡県を除く)・間車・近畿・その他) ※来訪者の定義(天神・博多): 各地点から半径約40km以上の地域からの来訪者(概ね福岡都市圏外の地域:県内(都市圏を除く)・九州、沖縄(福岡県を除く)・間車・近畿・その他)

基本理念① 交流を育み、都市の成長を図る都市づくり

34

魅力・活力創造拠点における取組み

- ●地域特性に応じた都市機能の集積が図られ、活力を生み出す拠点づくりが進められている
- 舞鶴公園・大濠公園地区(セントラルパーク構想・基本計画) 大濠公園と舞鶴公園の一体的な活用を図り、県民・市民の憩いの場として、また、歴史、芸術文化、観光の 発信拠点として、公園そのものが広大なミュージアム空間となるような公園づくりを進める





アイランドシティ

博多港の港湾機能強化に伴い誕生した都市空間を活用して、新しい「みなどづくり」「まちづくり」を行い、 福岡市の将来をリードする先進的モデル都市づくりを進める







豊かな自然を活かした取組み

●志賀島・北崎地区の海辺の魅力をさらに高めていくことで、地域の観光振興・活性化を推進

O Fukuoka EAST&WEST COAST













・豊かな自然環境と調和した道づくり (無電柱化、歩道の美装化)



・海辺の観光周遊コースの形成





基本理念① 交流を育み、都市の成長を図る都市づくり

都心部等のまちづくりの推進(第1回懇話会資料抜粋)

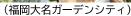
- ●航空法高さ制限により、多くの更新期を迎えたビルは建替えが進まず、建物の耐震化等の面で課題があったが、<u>航空法高さ制限の特例承認や市独自の規制緩和により、耐震性</u>の高い先進的なビルへの建替えが進んでいる
- ●建替えにあたっては、<u>地区計画等を活用し、オープンスペースや緑地の創出など、快適</u>でゆとりある都市空間や質の高い魅力ある市街地環境の形成を推進している
- 天神ビッグバン(2015,2~)

○ 博多コネクティッド(2019.1~)



○オープンスペースや緑地の創出等







(博多イーストテラス)





(水上公園)



(天神ビジネスセンター)

歴史資源等を活かした都市景観の形成(第1回懇話会資料抜粋)

- ●歴史等を活かした景観形成を推進するため、H28年3月に景観計画に新たに「歴史・伝統 ゾーン」を位置づけ、景観形成基準などを定めた
- ●博多駅と博多旧市街をつなぎ、博多部の歴史・伝統・文化などを醸し出すまちなみの形成を図るため、承天寺通り地区において都市景観形成地区を指定(R2.3)
- ■景観計画見直しと都市景観形成地区の拡大











基本理念① 交流を育み、都市の成長を図る都市づくり

3

歴史資源等を活かした都市景観の形成

●歴史・伝統のある地区で地域の個性を活かしたまちづくりが進んでいる

歴史・伝統が感じられる魅力的なまちなみ形成を目的に、まちなみづくりのルールを定めている

御供所地区都市景観形成地区

H10.11.30指定 H23.5.26変更

○景観形成基準

- 9つのエリア毎に建築物等のルールを定めている。 <形態意匠>
- ・建築物の意匠は、寺社群と調和した落ち着きのあるものと する。
- ・屋根は勾配屋根とし、その勾配は、4/10 以上 5/10 以下 を標準とする。

<色彩>

・周辺の寺社群や伝統的町家と調和した落ち着いた色彩と し、白色系、灰色系、黒色系、焦げ茶色系、木の色等自然 素材の持つ温かみや深みを持ったものを基調とする。

<高さ>

・寺社境内の建築物や樹木の高さを考慮するなど、寺社境内 からの眺望に十分配慮した高さとする。(エリア毎に12~ 25mの高さ制限を設定) など





筥崎宮地区都市景観形成地区(R6.3月指定)

○景観形成基準

<形態意匠>

- ・歴史景観との調和に配慮した落ち着いたデザインとする。
- ・2階建て以下の建物の屋根は勾配屋根とする。

<色彩>

・彩度・明度を抑えた落ち着いた色彩を基調とし、白・灰・ 黒・茶系統など歴史景観や自然素材等と調和したものとす る。

<高さ>

- ・筥崎宮境内から可能な限り目視できないような高さの建物 とする。
- ・境内から筥崎宮楼門、本殿に向けての眺望は、地域に根付 いた伝統的な風景となっていることから、特に配慮する。

など





市民意見(抜粋)

■企業誘致、雇用創出、働き方

- ・日本で最も新しいビジネスが集まる場所
- · **有力な企業が誘致**され、故郷を捨てずに活躍できる環境
- ・理系で勉強した子どもたちが働く場所の充実

■観光、レジャー施設、商業施設

- ・福岡を象徴するランドマークがほしい
- ・商店街は残してほしい

■都心部

・誰もが利用できる都会のオアシスみたいな緑多い場所

■国際化、共生

・世界の人々が来てよかった、住んでみたいと思えるまち

■文化芸術・スポーツ

- ·音楽やアートなどの芸術が街中で楽しめる
- ・コンサートホール、ライブハウス、大中小の会場
- ・自由に**気軽にスポーツを楽しめる施設**をたくさん作って ほしい

■交通

- ・市内隅々、**交通の不便さの不平等を少しでも** なくしていく福岡市
- ・**鉄道のネットワークを、もっと充実**させて ほしい
- ·バスの本数を増やしてほしい
- ・自宅から最寄りの駅までのアクセスが近い
- ・**高齢者が「運転しなくてもよい」**と思えるような環境づくり
- ·交通機関のタッチ決済を普及させてほしい
- ・公共交通の混雑緩和が必要
- ·市内中心部への交通流量の減少に向けた対策
- ・南区にも地下鉄を通してほしい
- ・地下鉄の姪浜駅と橋本駅を繋げてほしい
- ・ドームや国際会議場へのアクセス
- ・アイランドシティへの交通の便をもっと便利に
- ・空港の国際線に地下鉄で行けるようにしてほしい

基本理念① 交流を育み、都市の成長を図る都市づくり

40

福岡市基本計画(素案)

目標5 磨かれた魅力に人々が集い、活力に満ちている

めざす姿

- ◇自然や歴史、文化芸術、食などの多彩な資源が磨きあげられるとともに、福岡都市圏や九州各都市など と連携し、魅力向上に向けた取組みが行われ、一体的な集客力が高まっています。
- ◇都心に近い舞鶴公園・大濠公園一帯が、市民の憩いの場となるとともに、歴史や文化を活かした観光交流の拠点として機能し、都市の顔として、さらなる魅力の向上に重要な役割を果たしています。
- ◇国内有数のMICE都市として、様々な国際会議が開催されるとともに、スポーツや音楽のイベントなどが盛んに開催されるエンターテインメント都市として、広く認知されています。

目標6 都市機能が充実し、多くの人や企業から選ばれている

めざす姿

- ◇都心部において、先進的なオフィス、商業施設などの高度な都市機能が充実するとともに、水辺や緑、 文化芸術、歴史などによって彩りや潤い、賑わいが溢れる魅力的な都市空間が形成されています。
- ◇都市活力や市民生活の核となる市内の各拠点の特性に応じた都市機能が充実し、さらに各拠点が公共交通ネットワークによって繋がることで、**多くの人や企業から選ばれるまち**になっています。
- ◇都市の成長を牽引する高付加価値なビジネスの集積などにより、国内外の人材にとって、仕事の選択肢が充実し、「夢が叶うまち」「自己実現できるまち」となっています。

福岡市基本計画 (素案)

目標7 チャレンジ精神と新たな価値の創造により、地域経済が活性化している

めざす姿

- ◇地場中小企業において、多様な人々がいきいきと働き、特徴ある製品やサービスが生み出されるとともに、農水産物 の消費拡大やブランド化が進むなど、**様々な産業で競争力が高まり、地域経済が活性化**しています。
- ◇スタートアップが互いに交流しながら成長し、新たな価値を生み出すなど、**チャレンジする人材が活躍しやすいまち**になっています。
- ◇チャレンジ精神のある**多様な人材や企業が国内外から集積**するとともに、**産学官民の連携**が進み、**様々な社 会課題を解決する先進都市**になっています。

<u>目標8</u> アジアのモデル都市として世界とつながり、国際的な存在感がある

めざす姿

- ◇港湾、空港機能が充実し、福岡都市圏、さらには九州全体の国際交流のゲートウェイとして機能しています。
- ◇多くの地場企業が積極的に海外展開するとともに、**グローバル人材やその家族にも住みやすいまちづくり**が 進むことで、海外の企業が数多く立地し、様々なビジネス交流を通して、地域の経済が活性化しています。
- ◇少子高齢化や環境問題に先進的に取り組んできた知識と経験を活かし、世界中で深刻化する社会課題の解決に貢献するとともに、**様々な国際会議の開催都市**として、国際社会において存在感を発揮しています。

基本理念① 交流を育み、都市の成長を図る都市づくり

42

第1回懇話会の主な意見(抜粋)

■都心部等のまちづくり

- ・この10年間で、天神ビッグバンなどの計画が進み、福岡市が躍動する姿を見せている
- ・道路の歩行空間を広げるような、都市アセットのリ・デザインなどの視点が必要。

■歴史・文化資源の保全・活用

- ・博多、天神の魅力は歴史の重層性や多様性にあり、歴史・文化のマネジメントを考えるべき。
- ・歴史的に価値のある建物が生まれてくるような仕組みづくりが重要。

44

意見交換 **1**

基本理念1 交流を育み、都市の成長を図る都市づくり

交流

基本方向1 九州·アジアの交流拠点都市の形成

活力

基本方向2 都市の活力を牽引する都心部の機能強化

基本理念2 地域の特性を生かし、生活の質を高める都市づくり

意見交換 **2** 活用

基本方向3 都市基盤を活用した地域の核となる拠点機能の強化

快適

基本方向4

高齢者をはじめ、すべての人が快適で住みやすい 日常生活圏の形成

基本理念3 自然環境と共生し、安全・安心な暮らしができる都市づくり

意見交換 **3**

環境

基本方向5 環境負荷の少ない都市空間の形成

安全

基本方向6 災害に強く安全な都市空間の形成

意見交換

基本理念1 交流を育み、都市の成長を図る都市づくり

意見交換 **1** 交流

基本方向1 九州・アジアの交流拠点都市の形成

活力

基本方向2 都市の活力を牽引する都心部の機能強化

意見交換

基本理念2 地域の特性を生かし、生活の質を高める都市づくり

活用

基本方向3 都市基盤を活用した地域の核となる拠点機能の強化

快適

基本方向4

高齢者をはじめ、すべての人が快適で住みやすい 日常生活圏の形成

基本理念3 自然環境と共生し、安全・安心な暮らしができる都市づくり

意見交換 **3**

環境

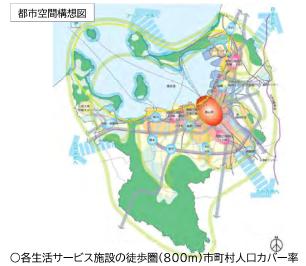
基本方向5 環境負荷の少ない都市空間の形成

安全

基本方向6 災害に強く安全な都市空間の形成

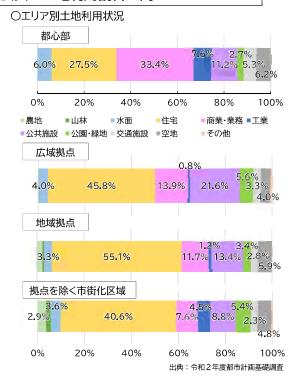
生活サービス施設や土地利用の動向

- ●生活サービス施設は他の自治体や政令市に比較して網羅的に配置されている
- ●都心部を除き、利便性の高い拠点で住宅・商業・公共の土地利用割合が高い



	福岡市(R2)	政令市	全国平均
病院・診療所(福岡市以外126)※1	97.6%	91.0%	62.3%
福祉施設(編岡市以外H27)※2	96.2%	90.0%	41.0%
保育所(細岡市以外H27)※3	93.0%	79.8%	43.6%
商業施設(福岡市以外H26)※4	89.8%	77. 1%	40.5%

圏域内人口を都市の総人口(保育所は0~4歳)で除して管出



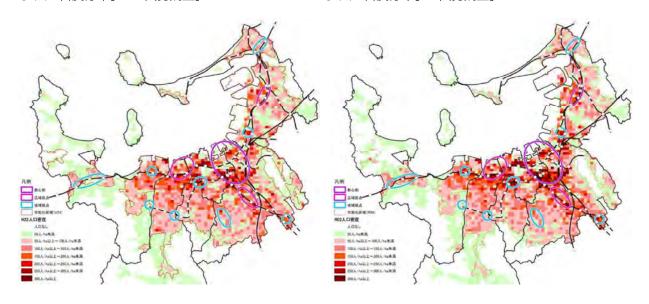
基本理念② 地域の特性を生かし、生活の質を高める都市づくり

46

人口密度の推移

- ●市街化区域のほとんどの範囲で人口50人/ha以上
- ●人口100人/ha以上のエリアは拠点や鉄道沿線に集中し、過去10年間でも増加
- ●地下鉄空港線、西鉄大牟田線沿線は、他の鉄道沿線や幹線沿道と比較して人口密度が高い
- 人口密度分布【H22国勢調査】

○ 人口密度分布【R2国勢調査】



拠点機能の強化

●新しいまちづくりや民間活力の活用等で都市基盤の整備や都市機能の集積が進められている

○東部広域拠点における土地区画整理事業











基本理念② 地域の特性を生かし、生活の質を高める都市づくり

48

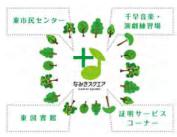
拠点への都市機能の誘導

●新しいまちづくりや民間活力の活用等で都市基盤の整備や都市機能の集積が進められている

○広域拠点への行政・文化機能の集積

・東部広域拠点













・南部広域拠点











・その他官公庁施設







拠点への都市機能の誘導

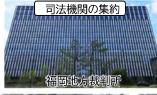
●新しいまちづくりや民間活力の活用等で都市基盤の整備や都市機能の集積が進められている

○九州大学六本松キャンパス跡地

















○簀子小学校跡地(りすのこスクエア)

- ・慢性期・回復期の病床を備える病院、高齢者施設等を開設
- ・「芝生広場」「体育館」「ハウス」を設け、地域行事や サークル活動等の場として活用
- ・体育館・広場を災害時の避難所・避難場所に活用
- ・中庭やカフェなど地域が日常的に利用できる機能を配置





基本理念② 地域の特性を生かし、生活の質を高める都市づくり

50

身近な緑の質を高める空間づくり

●民間のノウハウを活用し、利用者の利便性向上を図るとともに、管理運営面のさらなる向上を目的として、Park-PFI 制度を活用

○ 東平尾公園

- ・都心に近い森の中にある自然地形を活かした公園
- ・全体をインクルーシブとする公園
- ・遊びの「わ」が拡がる公園
- ・「Play with」を広める公園
- ・地域と協働する公園







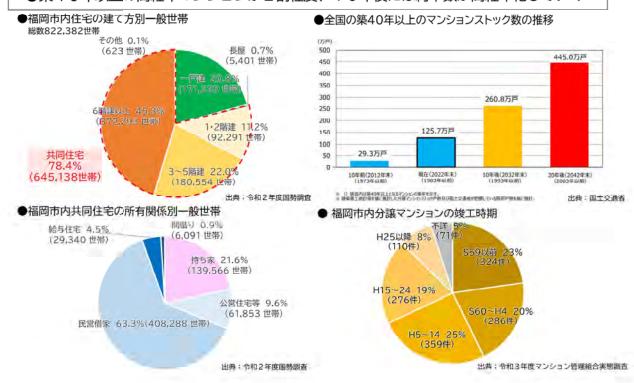
E (

51

基本理念② 地域の特性を生かし、生活の質を高める都市づくり

市民の住まいの動向

- ●市民の約8割が共同住宅に居住している
- ●築40年以上の高経年マンションが2割程度、10年後には約半数が高経年化していく



基本理念② 地域の特性を生かし、生活の質を高める都市づくり

52

市民意見(抜粋)

■コミュニティ

- · 高齢者や子育て世帯が孤立せず、安心して暮らせる 地域コミュニティ
- ・公民館を中高生の自習や高齢者の買い物など**便利に使** えるように

■ユニバーサルデザイン、健康、福祉

- ·多様な人が自分らしく生きられるためのまちづくり
- ・歩道の段差をなくし、自転車やベビーカー、車いすで も安心に
- 歩くのが楽しいまち
- ・老後でも安心して暮らせる福岡市
- ・高齢者になった時に生活できる場所の選択肢がたくさん 持てること

■子ども支援

- ·子どもたちがのびのび遊べるところがほしい
- ・子どもが大人になったときに**住み続けて結婚 子育てをしたいと思えるまち**

福岡市基本計画 (素案)

目標1 一人ひとりが心豊かに暮らし、自分らしく輝いている

めざす姿

- ◇年齢や性の違い、国籍、障がいの有無などに関わらず、すべての人の人権が尊重され、市民―人ひとりが互いに多様性を認め合うことで、誰もが自分らしく輝いています。
- ◇市民一人ひとりが、それぞれの知識や経験を活かし、社会の担い手、支え手として意欲的に社会参加するとともに、 文化芸術やスポーツなどを身近に感じ、気軽に楽しみながら、**健やかで心豊かに充実した生活**を送っています。
- ◇支援を必要とする市民が適切な福祉・介護等のサービスを受け、誰もが**安心して、快適に暮らし**ています。

目標2 すべての子ども・若者が夢を描きながら健やかに成長している

めざす姿

- ◇子どもや若者が、自ら学び、人や社会とつながりながら、様々な体験を通じ、生き抜く力を得るとともに、将来を切り拓くことができる、次代を担う人材として成長しています。
- ◇**すべての子どもや若者**が、権利の主体として尊重され、生まれ育った環境に左右されず、夢や希望を叶えられる よう、社会全体で見守られながら、**心身ともに健やかに育って**います。
- ◇子どもを望む人が、働き方やライフスタイルに関わらず、安心して出産、子育てしています。

基本理念② 地域の特性を生かし、生活の質を高める都市づくり

54

福岡市基本計画(素案)

目標3 地域の人々がつながり、支え合い、安全・安心にくらしている

めざす姿

- ◇市民が身近な地域の課題やまちづくりに主体的に関わり、地域コミュニティ活動の場となる公共施設 をはじめ生活環境が整うことで、人と人がつながり、支え合いながら、元気に安心して暮らしています。
- ◇道路、上下水道、河川、公園などの**身近な生活基盤が良好に整備**されるとともに、**地域における**自主防災組織などを中心とした共**助の仕組みがつくられ、災害への備えが確保**されています。
- ◇地域の防犯体制や、消防・救急医療体制、感染症への**危機管理体制が整う**とともに、モラルやマナーが大切にされることで、**市民が安全で安心して暮らし**ています。

目標4 人と自然が共生し、身近に潤いと安らぎが感じられる

めざす姿

- ◇博多湾や脊振山をはじめとした豊かな自然の恵みを享受し、都市と自然が調和したコンパクトで暮らしやすい都市環境が国内外から高く評価されています。
- ◇美しい街並みや地域の特性を活かした魅力的な景観が形成されるとともに、街中には心地良い花や緑が 溢れ、市民が身近に潤いと安らぎを感じています。
- ◇市民や企業の環境意識が高く、脱炭素社会の実現、循環経済の確立、生物多様性の保全・回復に─体的に取り組む持続可能な社会づくりが進んでいます。

第1回懇話会の主な意見(抜粋)

■人口増加・減少

- ・将来的な人口減少に備え、マンション建替え促進などにより、**当面の人口増加を鉄道沿線等で受け入れる** などの取組みが必要。
- ・人口の増加と減少をあわせて考えるなど、**九州や都市圏における福岡市の位置づけを人口動向などの視点で も整理**することが大事。

■少子高齢化

・少子化に対応する観点からも、若者が暮らしやすいまちづくりの検討が必要。

■自然資源の保全・活用

・これまでの取組みを継承しつつ、今後は緑の質の向上がポイント。

意見交換 56

基本理念1 交流を育み、都市の成長を図る都市づくり

意見交換 **1** 基本方向1 九州・アジアの交流拠点都市の形成

活力 基本方向2 都市の活力を牽引する都心部の機能強化

意見交換

活用

環境

基本理念2 地域の特性を生かし、生活の質を高める都市づくり

快適 高齢者をはじめ、すべての人が快適で住みやすい 日常生活圏の形成

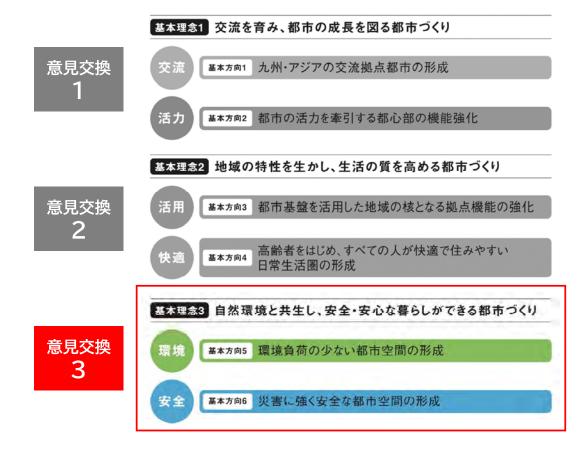
基本理念 自然環境と共生し、安全・安心な暮らしができる都市づくり

基本方向3 都市基盤を活用した地域の核となる拠点機能の強化

意見交換 **3**

基本方向5 環境負荷の少ない都市空間の形成

安全 基本方向6 災害に強く安全な都市空間の形成



基本理念③ 自然環境と共生し、安全・安心な暮らしができる都市づくり

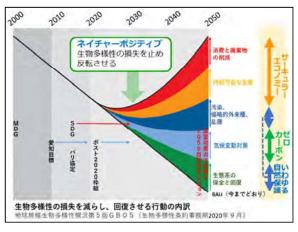
58

自然と共生する社会の実現(第1回懇話会資料抜粋)

●生態系から生み出される自然の恵みを将来にわたって享受していくため生物多様性の 保全が求められる

【全国】 (国の動き)

- ・政府の方針:ネットゼロ、循環経済、ネイチャーポジティブ経済の統合的な実現
- ・2050年ビジョン:自然と共生する社会
- ・2030年に向けた目標:30by30の達成等により、ネイチャーポジティブ(自然再興)を実現 【福岡市】
 - ・生物多様性の価値の認識やネイチャーポジティブ経済を広く社会に浸透させ行動につなげ ていくための取組を推進





緑の多面的機能の活用

●森林の持つ多面的機能をより高めることによって、快適で豊かな市民の生活を持続的に 支えることのできる環境を、次世代に残していく

福岡市森づくりの将来像『みんなで守り・楽しみ・活かす都市・ふくおかの森づくり』

基本方針① 毎日の暮らしを快適にし、災害を減らす「安心の森づくり」

基本方針② 身近な自然を体験し学ぶ「遊びの森づくり」

基本方針③ 脊振山系から博多湾まで流域全体で行う「水循環の森づくり」

基本方針④ 気候変動対策と生物多様性保全に応える「環境の森づくり」

基本方針⑤ 持続的な森の利用と生産を目指す「なりわいの森づくり」





- ●油山市民の森&油山牧場リニューアル (リーディングプロジェクト)
- ・油山の資源を活かした魅力向上
- ・都市生活者と自然の新たな関係の提案
- ・農林畜産業に親しむきっかけづくり





ABY

BNF

NATURE



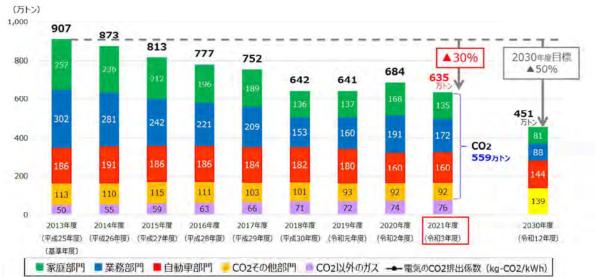


基本理念③ 自然環境と共生し、安全・安心な暮らしができる都市づくり

脱炭素社会の実現(第1回懇話会資料抜粋)

- ●第3次産業が9割を占める産業構造であり、二酸化炭素排出量の割合が、家庭・業務・自動車部門からで約84%を占めることが特徴
- ●家庭・業務部門からの排出量のエネルギー種別は、電気由来が約76%、ガス由来が約18%、その他燃料由来が約6%である
- ●自動車部門からの排出量の車種別は、貨物車が約54%、乗用車が約46%である

○温室効果ガス排出量の推移



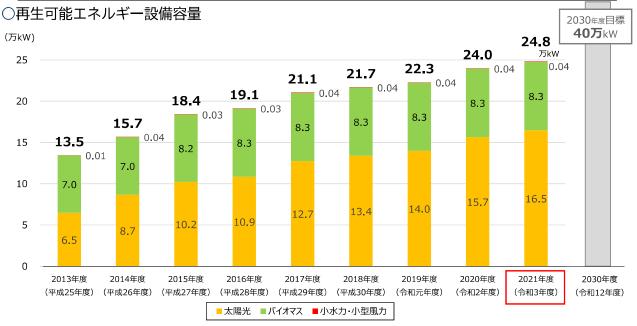
※ 四捨五入の関係のため、排出量の内訳と総量が一致しない場合がある。

※ 二酸化炭素その他的門:産業部門(農林水産業 建設部業) ジェックス (製造) (

基本理念③ 自然環境と共生し、安全・安心な暮らしができる都市づくり

脱炭素社会の実現

- ●再工ネ設備容量は24.8万kWであり、太陽光発電が約7割、バイオマス発電(清掃工場における廃棄物発電が大部分を占める)が約3割を占める
- ●バイオマスエネルギー等の導入量は横ばいであり、太陽光発電の導入量は伸びている



※ 市有施設には、福岡都市圏南部工場、瑞梅寺浄水場、乙金浄水場を含む

基本理念③ 自然環境と共生し、安全・安心な暮らしができる都市づくり

62

自然災害に対する地域強靭化(第1回懇話会資料抜粋)

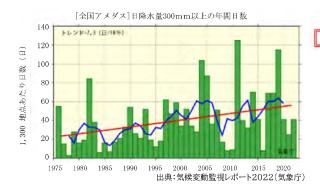
●大規模自然災害から市民の生命・財産を守り、持続的な成長を実現するため、自然 災害に対する脆弱性を見つめ直し、本市の強靭化を図ることが必要

【全国】

- ・特に豪雨災害が激甚化・頻発化し、各地で甚大な被害が増加
- ・東日本大震災の教訓を踏まえ、災害想定の見直しや、「減災」の考え方の浸透
- ・災害ハザードエリアにおける開発抑制

【福岡市】

- ・防災思想・防災知識の普及の啓発や避難対策の充実など、ソフトとハードを組み合わせた 取組の強化
- ・市街化調整区域内のハザードエリアにおける開発許可の厳格化
- ・盛土規制法に基づく、宅地以外の土地も対象とした盛土の規制に係る条例改正等を検討中





出典:令和5年度第1回盛土に関する専門委員会資料

市民意見 (抜粋)

■環境、自然、緑・公園

- ・再生可能エネルギーやEVの推進
- ·**自然を活かした**まちづくり
- ・ほどよく都会でほどよく田舎っぽさが残るまち
- ・花や緑に溢れたまち
- ・幅広い年齢層の憩いの場となる公園

■防災、道路整備、住宅

- ・災害、有事に備えるまちづくり
- ·子供でも老人でも安心して安全に歩ける道路整備
- ・自転車で移動しやすい道路整備
- ・電信柱のないまちづくり
- ·独り身の高齢者が安心して住める住居
- ・住みたいところに安価で安心して住める

基本理念③ 自然環境と共生し、安全・安心な暮らしができる都市づくり

64

福岡市基本計画(素案)

目標3 地域の人々がつながり、支え合い、安全・安心にくらしている

めざす姿

- ◇市民が身近な地域の課題やまちづくりに主体的に関わり、地域コミュニティ活動の場となる公共施設をはじめ生活環境が整うことで、人と人がつながり、支え合いながら、元気に安心して暮らしています。
- ◇道路、上下水道、河川、公園などの身近な生活基盤が良好に整備されるとともに、地域における自主防災 組織などを中心とした共助の仕組みがつくられ、災害への備えが確保されています。
- ◇地域の防犯体制や、消防・救急医療体制、感染症への危機管理体制が整うとともに、モラルやマナーが大切にされる ことで、市民が安全で安心して暮らしています。

目標4 人と自然が共生し、身近に潤いと安らぎが感じられる

めざす姿

- ◇博多湾や脊振山をはじめとした**豊かな自然の恵みを享受し、都市と自然が調和**したコンパクトで暮らしやすい 都市環境が国内外から高く評価されています。
- ◇美しい街並みや地域の特性を活かした魅力的な景観が形成されるとともに、街中には心地良い花や緑が溢れ、市民が身近に潤いと安らぎを感じています。
- ◇市民や企業の環境意識が高く、脱炭素社会の実現、循環経済の確立、生物多様性の保全・回復に一体的に取り組む**持 続可能な社会づくり**が進んでいます。

66

第1回懇話会の主な意見(抜粋)

■自然資源の保全・活用

·生物多様性の観点から、(在来種への配慮など)外来種への対応ついて検討が必要。

■脱炭素社会の実現

- ・市全体のエネルギー消費量は下がっているが、古い建物は残るため、断熱改修などの誘導が必要。
- ・交通は炭素排出の約3分の1を占めており、交通の更なる効率化が必要。

■安全・安心な暮らし

- ・大雨による**内水氾濫等**に対し、**郊外部の浸水対策**や都市内の**農地や遊水池の確保**などが求められる。
- ・地震について、これまでの取組みを継承して、引き続き、しっかりと取り組んでいく必要がある。
- ・災害におけるレジリエンスの観点では、コミュニティのつながりが重要。



		令	和5年度		令和6年度		令和7年度
議会		●改定着手 (6月議会)	● 適宜幹	 设告	→ ●骨子案 (秋頃)	●原案	●改定
懇話 :	<u>\$</u>		●第1回 ●第 <i>2</i>		●第4回		
都市記	計画審議会				骨子案● (諮問)	適宜開催	●改定案 (答申)
(参福岡市	考) 市基本計画		素案の検討 コジェクト・9次計画総括)	> 4	総合計画審議会	●議案提	出 次期基本計画開始
開催	第	1 🗓	第2回		第3回		第4回
議事	○今後の都 視点・課	の都市づくり 3市づくりの 題 意見交換	○上位計画などを路 今後の都市づくり 視点・課題 に関する意見交	の	○改定の方向性 に関する意見交換		子案 関する意見交換